３．研究構想図

＜児童の実態＞

・長年、生活科や総合的な学習の時間で「地域」を取り上げた学習活動を行ってきたことにより、地域に関心のある子が多い。

・PTA 関連行事や地域の祭りに参加することで、地域にかかわろうとしている。

・都市化が進んで転出入も多く、本校出身の保護者の割合は少ない。そうした傾向もあって地域を知る機会が乏しくなっている。

学校教育目標

〇元気な子
〇やさしい子
〇よく考える子
〇やりぬく子

＜研究主題＞

『地域とふれあい、地域に学び、地域とともに生きようとする子ども』

＜めざす児童像＞

◎　すすんで身近な人々や自然、地域社会にかかわり、よさを発見し、学んだことや感動したことを自分の生活に生かそうとする子。

〇　低学年　地域の施設や人々に親しみ、かかわりあう楽しさを味わう子。

〇　中学年　地域とかかわりながら積極的に地域を知り、愛着をもてる子。

〇　高学年　地域とかかわることによって地域を知り、地域を考える子。

＜研究仮説＞

身近な地域を生かした体験的な学習活動をすることにより、子どもたちに新たな感動や気づきが生まれるだろう。そして地域の人々との交流を深め、学ぶことで自分たちの地域に親しみをもち、意欲的に地域社会にかかわっていくようになるだろう。

＜研究の視点（具体的活動を含む）＞

〇学校応援団等の活用　　〇地域理解を深める学習活動の工夫

〇（人、社会、自然とのふれあいを通して）気づき、考える能力を育成する学習過程の工夫

低学年

・公園へ行く「町たんけん」の時に保護者に協力してもらう。（つきそい）・葛西保育園との交流・昔遊び…身近な人（祖父母、父母等）（・読み聞かせ）

〈たんけん活動〉・公園・お店・新田コミュニティ・駐車場・図書館・駅

〈表現活動〉・学習カード・新聞・紙芝居・ゲーム・写真

中学年

３年…「達人から学ぼう（左近川の今と昔）」・「わたしたちのくらしと農家（小松菜づくり）」

・「わたしたちのくらしと商店（スーパーマーケット見学）」・海苔すき体験

４年…「地域安全マップを作ろう」・「昔の道具調べ・体験」・ごみ・荒川放水路

高学年

・学校とかかわりのある人や団体を通して年間計画、単元計画から洗い出し、活用する。・視覚障害者協会（5年・福祉）・葛西さざなみ会（5年・稲作体験）・四小OB（6年・進路）

・出かける・聞く・一緒に活動する（つながりや機会を何度もつくる）

・地域のために何ができるか。

・どのように発信できるか。

・課題意識をどうもたせるか（学習課題の工夫）